

育児相談でおこなう

「指さし」をやってみよう!!



1歳6か月児健康診査の育児相談では、言葉の育ちをみるために
お子さんとのやりとりを通し、下のイラストのような「指さし」を行います。
指さしはコミュニケーションの第一歩! おうちでも、指さしをやってみよう!!

「指さし」の例

Point 01

目についたものや興味のあるものを指さす。



Point 02

物の名前を聞いて指さす。



日常の中でできる関わりは?

指さしたら視線を合わせて反応しよう!

子どもがものを指さしたら、視線を合わせて「あれはちょうちょだね。きれいだね」などと応じることで、子どもは自分の行動に意味を感じコミュニケーションが成立していると気づきます。

指さし遊びをしよう!

「わんわんどれ?」や「どっちが食べたい?」等と問いかけてみましょう。
指さして応える意図が伝わらないときは「『ピンポン』ってしてごらん」等
わかりやすい表現で伝えてみましょう。